

ご寄付の方法

東北大学基金ウェブサイトの寄附申込みフォームにて、寄附の方法、寄附の目的をご指定ください。
申込みフォーム内の寄附の目的欄から、「図書館のみらい基金(特定基金)」をご選択ください。

●ご寄付の方法

個人の方

- 郵便振替[同封の払込取扱票をご利用下さい。]
- 銀行振込[払込票をお送りいたしますのでご連絡ください。]
【取扱銀行：七十七銀行 みずほ銀行】
- クレジットカード[ウェブサイトよりお手続きください。]
【取扱カード：VISA、MasterCard】



東北大学基金

法人・団体の方

お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください。

●税制上の優遇措置

個人の方

税務署に確定申告をしていただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。

法人・団体の方

寄附金額全額を損金に算入することができます。

東北大学基金からの顕彰・特典

●東北大学基金ウェブサイトへの芳名の掲載

東北大学基金ウェブサイト「寄附者芳名帳」等にお名前を掲載いたします。
ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。

●東北大学ロゴマークのオリジナルシールを贈呈

蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

●賞の贈呈

ご寄附の総額に応じて賞を贈呈させていただきます。
また、功績賞以上の賞を受けられた寄附者様に以下の特典を用意しています。

1. 寄附者顕彰銘板への芳名の掲載

東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載させていただきます。

2. 「感謝のつどい」へのご招待

総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。

3. 東北大学校友会プレミアム会員としての特典

広報誌の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。

校友会ウェブサイト：<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/>

種別	個人	法人
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功 労 賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功 績 賞	10万円以上	100万円以上

附属図書館の特典

展示イベント案内等の特典を用意しております。

また、功労賞以上の賞を受けられた方は、校友会永年会員証で本館を利用することが可能です。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/premium-free.html>

お問い合わせ

●基金による事業に関するお問い合わせ先

東北大学附属図書館 総務課 総務係
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
TEL : 022-795-5911
E-mail : lib-som@grp.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.library.tohoku.ac.jp>

●寄附の方法等に関するお問い合わせ先

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部 社会連携課内)
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1
TEL : 022-217-5058・5905
E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>

東北大学附属図書館

図書館 の みらい 基金

東北大学特定基金へのご協力をお願い

TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

「知」を開き、 未来につなぐために



東北大学附属図書館は、東北帝国大学の創立から4年後の明治44年(1911年)に設置され、100年余にわたって東北大学の教育・研究を支え続けてきました。現在では、川内キャンパスにある本館をはじめ、医学分館、北青葉山分館(理学・薬学)、工学分館、農学分館および複数の研究所図書室等から構成されています。全体の蔵書数は国内最大級の約410万冊を誇り、学外も含め年間110万人もの利用者がいます。

当館は、長い歩みのなかで、貴重なコレクションを数多く集積してきました。明治の文豪・夏目漱石の旧蔵書である『漱石文庫』、2点の国宝(『史記』、『類聚国史』)を含み、「古典の百科、江戸文化の宝庫」といわれる『狩野文庫』などが代表的なものです。それらは人類の「知の遺産」ともいべきもので、世界中から訪れる研究者に利用されております。

当館では、オリジナルな資料が持つ魅力に触れる機会を設けるため、貴重書展示等のイベントを定期的に開催し、学生や市民のみなさまにご好評をいただいております。こうした取り組みを推進し、本学が持つ学術資料の一層の活用を図るとともに、貴重な資料を次世代に確実につないでいくことは当館の大きな使命であると考えております。

また今日、内外の図書館では、所蔵資料を電子化し、インターネットによって公開するデジタル・アーカイブの構築が趨勢となっております。当館においてもそのような事業を進めてまいりましたが、貴重資料を網羅した、より高精度で使い勝手のよいアーカイブを提供し、学生や研究者の利便性を高めるとともに、市民のみなさまの生涯学習にもご利用いただけるようにすることが急務であると考えております。

これらの取り組みを着実に遂行するため「図書館のみらい基金」を設置いたしました。
どうか、みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年3月
東北大学附属図書館
館長 大隅典子

基金の主な用途



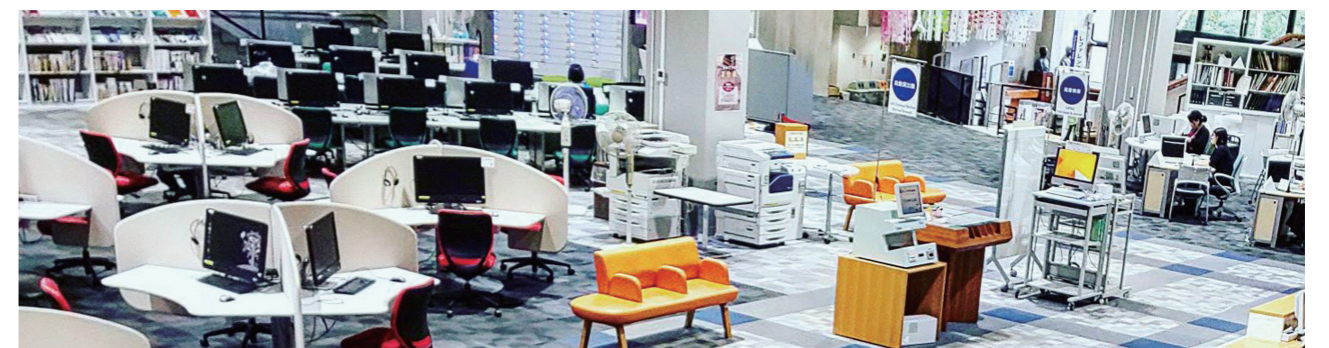
1 市民のみなさま・学生・研究者のための デジタルコレクション構築と公開

古典資料や貴重書を中心に高精細の画像データを作成し、直接の来館が難しい利用者の方々も簡便にかつ必要とされるときにいつでも利用できるようにします。また、タブレットやパソコン上での原本の比較研究等にも対応できる高水準の公開システムの開発・運用を目指します。



3 図書館設備の充実、資料の保存・修復

学生をはじめとする来館者が、安心・安全にご利用いただけるよう館内の設備を充実させると同時に、障がいをお持ちの方も快適に滞在いただける環境を整備します。また、貴重書をより良い状態で保管できる環境を維持し、燻蒸(カビの殺菌)や修復などの資料保全の取り組みを適切に行います。



2 貴重資料に関する各種イベント開催

どなたでも観覧いただける貴重書展示会や、識者を招いての講演会等を開催します。また、イベント情報を多くの方に届けるための広報パンフレットの作成をはじめ、貴重書に関する解説資料やウェブサイトの充実など情報発信の充実に取り組みます。



4 人材育成

将来の研究・教育を着実に支えていくため、新たなスキルを持った図書館職員を育成します。紙の図書等に加えて、デジタル化された図書や研究データ等を適切に扱っていくことが求められています。また、高校までの勉強から大学での学びにスムーズに移行することを支援するため、高校生を対象に基礎的な学術情報リテラシー習得に関する支援も行います。